

☆総代通信☆

2025年4月16日発行
生活協同組合コープおきなわ理事会
電話：098-879-1144（総合推進室）
FAX：098-879-1199

はじめに
2月地域別総代会議へのご参加、そして、アンケートの提出ありがとうございました。頂いたお声は、今後の運営に活かしていきます。振り返りをお送り致しますので、ぜひご確認下さい。

「2月地域別総代会議」333名の方が アンケート提出されました。（参加率73.2%）

2月地域別総代会議について、4つの参加方法（①動画を見る、②資料をよむ③会場参加、④ZOOM）で案内したところ、総代、オブザーバー451名中、333名の方よりアンケート提出がありました。（**昨年に比べ+78名**）

■総代の事前申込、アンケート提出状況

※新任総代132名の内、93名からアンケート提出がありました。（内、新任総代）

参加方法	参加（アンケート提出）	23年度（昨年） 参加（アンケート提出）
① 動画を見る	69名	47名
② 資料を読む	139名	111名
③ 会場参加	120名	93名
④ ZOOM 参加	5名	3名
⑤ 記載なし	名	1名
総計	333名 (参加率73.2%)	255名 (参加率55.4%)

■アンケートの理解度について

設問①：2024年度事業活動報告について

	よくわかった	ある程度わかった	あまり わからなかった	全く わからなかった	回答なし
回答数	195	134	0	0	0
割合	53%	47%	0	0	0

設問②：2025年度方針などについて

	よくわかった	ある程度わかった	あまり わからなかった	全くわからなかった	回答なし
回答数	172	152	1	0	4
割合	52%	46%	0.3%	0%	1%



～ご質問・ご意見への回答～

2月地域別総代会議の会場とアンケートでお寄せいただいたご質問・ご意見への回答を掲載しています。

1. 協同購入事業

Q: 離乳食、幼児食の企画も良いですが、介護職、介護用品の販売、相談なども出来たらよいと思います。

A: 「ぱれっと(雑貨)」カタログにおいて、定期的にリハビリパンツ(男女兼用)などを企画させていただいており、その他にも介護用品の品揃えを広げております。また、「いきいきらす」のカタログでは、やわらか食品コーナーを設けており、高齢者でも食べやすい商品の品揃えを増やしております。今後も高齢化が進むにつれ介護用品の需要も高まりつつありますので充実した品揃えが出来るよう検討していきます。

Q: カタログ多すぎ。もう少し整理して、例えば食物だけの。生活用品・ファッション・薬・その他など希望カタログの希望を記入できるスペースがあればいいのに。

多くのカタログが混載しておりご迷惑をおかけしています。現在、組合員が利用しやすいよう、必要なカタログだけをお配りする仕組みの導入を模索しています。実現に向けて検討を進めていきます。

Q1: 購買意欲にクレジット払いにもポイントが付与になるといいな～

クレジットは事業者(コープおきなわ)がクレジット会社に支払う手数料がございます。現時点ではクレジット払いにポイントを付与すると事業に与える影響が大きいため、対象外にさせていただいています。

Q2: ハッピー半額割引されておりますがどのような時に割引されているのでしょうか

1回の注文金額が税込8,000円以上12,000円未満で「ハッピー割」が適用され、手数料が209円から104円と半額になります。税込12,000円以上はスマイル割引が適用され、手数料が無料になります。

※プレイガイドAple(あぷれ)掲載商品(チケット、ハウジング、保険、車、共済など)、即売で購入した商品、抽選企画の商品、増資、運賃は含まれません。

なお、手数料制度については、25年度に見直しを予定しています。詳細が決まりましたら、組合員の皆さまにご案内いたします。

Q: 最近は物価高で、私も含め周りのお母さんたちが困っています。お米の価格や3kgの種類を多くすることとか、毎日は飲めなくなったので、たまにビールを飲みたいが、24本は多すぎるという声を聴きます。できれば6本の種類を多くすることを考えてもらいたいと思います。

現在のお酒ページでの6缶企画はビールが1アイテム、酎ハイが2アイテムとなっております。物価高の影響も加味し、また、各家庭の消費量により近づけるよう、ビールアイテムの6缶企画を見直します。限りある紙面での調整となる為、1アイテム増程度となりますがご理解のほど、よろしくお願いします。

Q: ❀一番気になるのは発泡スチロールの汚れ!❀こちらで用意した発泡スチロール箱(だから回収無し)に入れて欲しい!折りたたみブルーやグリーンの箱は今迄通り活用(希望)

A: ご指摘いただきました「保冷箱の汚れ」につきまして、大変ご不快な思いをおかけしましたことを深くお詫び致します。保冷箱の状態については、全ての組合員さんに安心してご利用いただけるよう、私たちも重要視している部分です。本来、汚れた保冷箱については回収後、洗浄機での洗浄や手洗いをし、しっかり乾燥させた後、再利用する流れとなっておりますが保冷箱の不足により、洗浄サイクルが十分に機能していないことが原因のひとつとなっています。これらの課題を解消し、全ての組合員さんへ清潔な保冷箱をお届けするため、2025年4月と10月に保冷箱を多数購入し、大幅な入替を計画しております。新品保冷箱導入時に、現在使用中の保冷箱の洗浄を徹底いたします。これにより、今後は綺麗な保冷箱でお届けできる体制を整えていきます。

なお、ご要望いただいた「用意した発泡スチロール箱への入替」については、具志川センターより個別に対応させていただきます。

Q: 気になった点は個別手数料の見直しです。さらっと 1 行ほどで説明がありましたが、やはり値上げということでしょうか? 気になります。

A: 個配手数料改定についてですが、現在の個別利用手数料は 2015 年に改定以来、変更せずに運用してきました。しかしながら、昨今の社会情勢の変化による原料資材や燃料費の高騰、人手不足や人件費の上昇等により、事業経営の見通しは今後一層厳しい状況になることが予測されます。今後も安全安心な商品を安定した品質でお届けし、将来にわたって協同購入事業の持続可能な運営を見据えると、個別利用手数料の改定(値上げ)が必要だと考えております。併せて、個別利用の伸張につながる新たな提案(利用額に応じた割引制度など)をさせていただきます。

Q: 利用人数が減少した「コースメンテナンス」とは何のことでしょうか?

A: コースメンテナンスとは、配達コースの順番やお届け箇所を調整し効率の良い配達状況に変更することです。例えば、同じマンションに別々の担当者で配達に行くことがある場合、同じ担当者でお届けを統一し効率の良いお届けコースに変更をお願いしています。組合員さんへ要望や状況を聴いて、出来るだけ要望に添えるように進めていますが要望に添えず協力をお願いすることもあります。そうすることで多くの組合員さんのお届けができ、移動距離が減ることで CO2 削減にも繋がります。ご理解とご協力を宜しく願います。

Q: コース編成について、40 年近く同じ時間に配達してもらっていたが暮らしのリズムが変わった。

A: コースメンテナンスにより、暮らしのリズムが変わりご迷惑をお掛けし申し訳ございません。これまでコープおきなわではグループ配達を担当している職員、個別利用を配達している職員で分けていましたが、昨今の人手不足、物価高騰などを背景に、より効率よくお届けできるよう、お届け先をエリアで分けることにしました。事業コストが上昇し続ける中、これからも沖縄県内に協同購入事業が存続し続けるためにも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

Q: 台風やハウジング事業での落ち込みは毎年上げられていますが、対策と原因を具体的に知らせて頂けたら有難いです。

A: 【台風】台風接近や海上時化に伴い、県外から入荷する商品を乗せた船舶に遅れが生じ、お約束している曜日、時間にお届けできない場合があります。台風の規模や進路など、その時々で対応は異なってきますが、基本的な考え方は「可能な限りお届けする」方法を選択しております。また、対応が決まり次第、組合員の皆さまにもショートメールやアプリメッセージなどで情報提供(お届け予定日やお届け出来る商品、出来ない商品など)を行い、組合員さんの暮らしに影響が少なくすむよう努めています。

また、こうしたイレギュラー対応時には、次週以降の注文状況にも影響が起きやすくなりますが、可能な限り影響が低減されるよう、ご自宅にいても注文確定が可能なコーププラス(Web注文)の普及にも努めています。

【ハウジング】

落ち込みの主な要因には競合激化(リフォーム・塗装会社や家電量販店、DIY センターなど)が進む中、受注が減ったこと、次世代継承を図る中、スピーディな見積提案ができず受注に至らなかったことが要因と考えています。

25 年度は方針で大事にすることのひとつに「組合員さんに寄り添うこと」を据えています。組合員さんの声(要望)を聴き、協力店に繋ぎ、施工すること。完成後も組合員訪問を行い困りごとに寄り添うことを大事にします。つぎは「人財育成(出来ている人に学ぶ)」です。現場調査、見積提案、施工管理など一人で担当することの多い業務ですが、担当者や現場ごとに「良い事例、失敗事例」などのドラマがあります。この事を全員で共有し、学びあう事で全体のスキルアップをすすめます。

Q: コロナ前までは、30 年利用者へ賞状と商品券がありましたが、現在はやっていないようで、ちょっとした商品(卵やお菓子など)でもあると嬉しいです。

A: 50 周年を迎えるにあたり、利用していただいている組合員さんへの感謝を表す企画を考えたいと思います。

Q: 昨年度、個人配達に切り変えたところ、曜日や時間等ほぼ一方的に決められた。変更が 2 度あった。せっかく、220 円も支払っているのになんでこちらの都合に近づくことができないのか知りたい。

A: 組合員さんへのお届けはある程度、地域で曜日を決めており、限られた人員の中、多くの組合員さんにお届けできるよう配達コースの効率化をはかっています。全ての組合員さんのご希望に添うのはなかなか難しいことですが、できる範囲で対応させていただいている現状です。事業コストが上昇し続ける中、これからも沖縄県内に協同購入事業が存続し続けるためにも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

Q:親しくしていた協同購入の配達担当者が退職されたと聞き残念に思いました。職員の働く環境作りを最重要課題にして欲しいと思います。その方は配達時に「僕においしい商品、便利な商品を教えて下さいよ」と聞いてくれて商品を通していろんな話しができて楽しかったです。協同購入利用の落ち込みは配達担当者に起因しているのでは?と思います。

A:「働きやすさ」と「やりがい」につながる環境を整え、「働きがい」が得られるような組織づくりをめざしています。「働きやすさ」を整える具体的な取り組みとして、今年度より『連続休暇(夏季等)』を設定しています。疲労回復、モチベーション向上につなげ、コープおきなわで働き続けたいと感じることのできる環境をつくります。あわせて、「やりがい」につながる、学びの場を増やすことも計画しています。組合員さんへ商品のお知らせができる様に、週1回のセンターミーティング(学習会)で商品学習の場を設けていきます。

Q:コープのトラックが街を走っているのを良く見かけます。公共のバスのようにラッピングしたりして、コープの活動など宣伝に使ったらどうでしょうか。北部豪雨支援をやっているなど社会性の高い内容をアピールしたらいいと思いました。

A: これまで、コープ共済の認知度を高めるためラッピングに取り組んだ経緯があります。現在、約150台のトラックが沖縄県内を走行しています。ご意見にあるように、広報媒体のひとつとして検討したいと思います。

Q:肉まん、昨日 TV でやっていたが、カタログにはでていますか?冷凍弁当、とても活用させていただき、助かりました。

A:TVでご覧になられたのは「COOP国産素材で作った肉まん」だと思われますが、該当品はチルド(冷蔵)商品で賞味期限が短い為、残念ながらコープおきなわでは企画ができません。また、COOP ブランドでは「COOP具たっぷり豚まん(冷凍)」が一番人気となっています。こちらは、冷凍食品ページに隔週程度で企画をさせていただいています。主に冬場の利用の需要が増えますが夏場でも一定利用いただいている人気商品となっています。

Q:パレット商品が翌週配達になると助かります。

A:九州の生協と同様、翌週配達が実現できるよう取り組んでいます。実現に向けた課題のひとつに、「商品発注の精度とスピード」があります。そのため、コーププラスを活用したネット注文だとさらに実現に近づきます。皆さまのご協力をお願いします。

Q:北部豪雨での給水車運搬支援について詳しく説明してほしい。

A:豪雨水害の被災により鶏舎への水の供給ができなくなり、ニワトリの飲み水など水の確保が急務となりました。生産者の支援のため10日間、コープ職員が、給水車の運転などの支援を行いました。

Q:利用減、天候で船が欠航で欠品になる商品もっと活用しては?

A:台風や海上時化の影響により、どうしてもお届け出来ずに欠品になった商品については、基本的に①店舗での値引き販売、②フードバンクへの提供、のいずれかに活用しています。(賞味期限切れなどが無い限り、廃棄処分は行っておりません)

Q:フードバンクについて。(集めた商品を)どのように配布している?

A: コープおきなわでは、旧盆後、お正月明けの年二回実施しています。組合員さんへは担当ニュースや店頭で告知し、ご提供頂いた商品は職員で仕分けをして、地域の社協さんへ贈呈しており、そこから子ども食堂などへも贈られています。

2. 店舗事業

Q:お店が好調な要因は何ですか？

A:店舗事業本部ではひとり一人の職員が目の前の状況に対し、理念や考動指針、方針などに照らして判断し実践することを目指しています。その環境づくりのひとつとして、一人ひとりの判断で実践した考動に対して表彰制度を活用し、年間700件以上の表彰をしてきました。そのことで、一人ひとりが実践したことが理念や考動指針、方針とつなり、実感することで周りの職員も判断基準が高まってきます。地道ですが、そのような積み重ねで私たちが目指す組織、店舗事業本部のめざす姿を実践できる職員が増えている事が好調な要因の一つです。

Q:いつも助かっています。毎週、楽しみにしています。クレジット決済等もポイントがついてくれるといいなと思います。

A: 普段のお買い物の利便性向上を目指し、クレジットカードの利用、QRコード決済、などを導入しています。今回頂きました「クレジット決済にもポイントと付与して頂きたい」のご要望に関しては、『厳しい』と回答せざる得ないのが現状です。

理由としては、クレジット利用額に応じた手数料をクレジット会社へ支払う必要があります。手数料率は各社それぞれ違い、その手数料の負担は事業に与える影響が少なくないことが主な理由です。一方で、私たちコープおきなわには独自の電子マネー【あぶか】がありますが、その【あぶか】利用料は各クレジットカードやQRコード決済の利用料と比べて格安となっており経営的に見ても大きなメリットがあります。組合員の皆さまには【あぶか】のご利用をおすすめしています。今後も事業として成り立ち、ふだんのくらしのお役立ちにつながるように、様々な対応を進めていきたいと考えています。

Q:カラベジの事は資料を読んで詳しく知りましたが一般組合員は、どうかな？ポップ等で案内も必要かと思います。

A: カラベジについて簡単にご説明いたします。カラベジとは、カラフルベジタブルの略で、コープおきなわの産直生産者として2025年度1月に認定された農産物生産者団体です。取り扱いは、協同購入および、コープこくば、コープ牧港、コープ寒川、コープあぶるのタウン、コープおろくの5店舗となっています。店舗事業本部では、現在、生産者の個人毎の紹介POPや、取り扱い生産作物等のPOPなどを作成し、取り扱い店舗にて掲示しております。併せて、産直についても広く知って頂けるように【コープの産直】が伝わりやすいPOPなども作成中です。作成次第取り扱い店舗内にて掲示していきます。協同購入でもカタログでのご案内を行っていきます。

Q:キッズ割の年齢を、あげて欲しいです。コープの商品を作って料理教室がもっとあると嬉しいです

A: 2025年度4月からキッズ割の対象年齢を引き上げました。これまで小学校就学前までだった対象年齢を中学校入学前の3月までに引き上げています。利用する組合員が増えてこそこのようなサービスが拡充されますので、まだコープに加入されていない方や対象年齢のお子様をお持ちの方がおりましたらぜひお知らせ頂ければ幸いです。組合員さんと一緒にいい制度、使いやすいサービスにしていきたいので今後とも宜しくお願い致します。ご提案頂きましたコープ商品を使った料理教室も、今後検討させていただきます。

Q:フルセルフレジの導入によって人手不足にどれだけ対応できたのか、逆に不便になった点はなかったのか知りたかったです。個人的には、バーコードの読み込みの遅さと袋に入れても画面が切り替わらなかったりと出し入れに時間がかかるので、有人レジに並んでしまいます

Q:フルセルフレジの導入を検討されているとのことですが、私は、あのシステムを良いとは思いません。フルセルフレジを取り入れつつ、有人レジスタッフも配置してそのスタッフが椅子に座ってレジを打てるようにしませんか？

A: フルセルフレジを導入することで、昨今の労働力不足を補うなどの効果があります。しかし、ご指摘のように、機器の操作などで面倒をおかけしたり、「人の関わり」が希薄になることで不快な思いをさせてしまう可能性も否めません。レジ担当への応募が少なく苦慮している現状が続いています。このような傾向は当分続くことが予想されます。そのような中でも機械ができない心配りや応対、接遇はとても重要で大切にしたいことです。気持ち良く、お買い物ができるように努めます。

レジでの椅子の使用についてですが、すでに実証実験が開始され、多くの組合員さんから肯定的なアンケート

結果が寄せられています。その結果を踏まえながら、椅子の選定などの準備をすすめ、運用に移りたいと考えています。

Q:フルセルフレジの導入とても良いと思います。最近イオンで見かけたレジゴーがとても便利です!お買い物しながら商品の合計金額がわかる事と、とてもスピーディで時短になるので私はよく利用しています。ぜひコープも導入してほしいです。

A: フルセルフレジやスマホやタブレットでお買い物しながら決済や読み取りができる機器が普及し始めています。しかしながら、それらを実際使用する際には多額のコストがかかる事もあり、そのコスト額からするとコープおきなわ単独での導入は厳しい状況です。全国の生協の結集、コープ九州事業連合会の中での実施でなければ実現は困難な状況です。情報を共有しながら、今後の進め方、最新機器の導入などを検討していきたいと思っています。

Q:フルセルフレジだけでなく、有人レジも残して欲しい。高齢者の方など、困っている姿を見かけるので

A:フルセルフレジの導入にあたっては、ご指摘のようなご意見についても検討しており、職員が対応するセミセルフレジを配置し、ゆっくりとレジ清算ができるように対応していきたいと思っています。お買い物の際にゆっくり、焦らされることにならないよう、組合員さんが安心して利用できるレジ対応を目指していきます。

Q:なかなか、ゆっくりとカタログをみる時間がありませんが、孫が新鮮な果物が大好きなので、会いに行く時は、店舗で山ほど購入しています*¥(°o°)/*

A:普段から協同購入と店舗を併用頂き感謝致します。お孫さんとの基調なひと時を彩る果物や食品をしっかり準備していきたいと思っています。今後ともお近くのコープの店舗をご利用ください。また、ご要望の商品やお気づきの点がございましたらお手数ですが、店舗職員までお気軽にお声掛け下さい。

Q:コープなご宮里の出入口が、あまり風が強くて、最近行けない声が多々あります。可能な限り手伝ってます。

A:コープなご宮里への貴重なご意見、ならびに店舗入り口自動ドア付近でのお気遣いに心より感謝致します。店長とも確認し、ご来店の皆さまがより安全に、安心してお買い物ができるように注意喚起のためのPOP掲示などを行います。

Q:生協のバックヤード(北部地域)などで就労の体験などできる仕組みを作る検討→若者の視野を広げるための社会資源を作らないといけないと日頃のこども支援をする中で感じていて、生協の組合員が地域の少し困難を抱えることも達と繋がれば、地域の力の底上げにもつながるのではないかと、考えたりしています。

A: コープおきなわでは店舗を中心に、小学生の仕事体験や中学生の職場体験の受け入れなどを行っております。その受け入れについては、各店舗の状況にあわせて対応させて頂いています。例えば、コープなご宮里での就労体験、ジョブシャドー学習、職場体験学習などの受け入れについては、職員の体制面で対応が可能な時のみの受け入れとなっております。すべてを受け入れたい気持ちはありますが、コープなご宮里は少数の職員で運営しており、対応が困難な場合があります。しかしながら、社会資源の構築、地域の子供たちとのつながり作りの必要性も感じておりますので、可能な場合は積極的に受け入れをすすめていきます。

Q:クワイエットアワーはとても良い取り組みなので他店にも広げてほしい。

Q:クワイエットアワーについて、存じ上げなかったので感動しました。電気代など経営にかかるコストを削減しつつ(と単純に思いますがいかがでしょうか)誰かに喜んでもらえる取り組み、というのはとても素晴らしいですね。ぜひ全店舗で、また週〇回もしくは毎日、時間帯を変えながらなどして、広げていっていただきたいです。(クワイエットアワー実施中!とお客様にPRしつつ、が大切だと思います^^)

A: コープおきなわの大事にする考え方の一つに《誰一人取り残さない社会を目指す》という事があり、その考え方に沿った取り組みとなります。

『クワイエットアワー』の取り組みのきっかけについて触れさせていただきます。

私たちが暮らす社会の中では、視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚などの諸感覚が過敏で日常生活に困難さがある方がいらっしゃるという事実と、その状態のことを「感覚過敏」と言われるようです。しかし、そのような方々がおられる

事は社会的には知られていない事もあり、社会的に周知するために協力頂きたいとの相談を受けたのがきっかけです。私たち店舗事業本部として何かできないだろうかとの思いから、“一人でも多くの方にお知らせすることはできそうだ”という事で取り組みが始まりました。店舗ごとで照明や音響の機器などの対応、手順なども異なり、また取り組む際の人員体制にも課題もありますので今後は可能な店舗や実験的な実施などで進めていきたいと思えます。

Q:最近高齢の方がやっているまちやぐわーに定期的に豆腐を買いに行くようになりました。家から近くではないのですが、お店のおばちゃんに会いに行きたい気持ちもあり、豆腐がなくなると行きます。コープのお店も、こういうコンセプトがあるといいなと思います。南上原にも小さいコープのお店が欲しいです。小さい子どもが多いので、コープの牛乳、豆腐、お味噌お惣菜に需要があるんじゃないでしょうか？

A: お買い物だけに限らず、人と人のつながりやぬくもりのある雰囲気など、地域コミュニティーの場としての「お店づくり」も大切なコンセプトだと考えています。組合員の皆さまが利用する生協のお店なので、なおさら大事にしたいことです。今後のお店づくりにおいて参考にさせていただきます。

Q:レジ支払い中にあぶか残高が足りず、レジの担当者よりチャージ機でチャージするようお願いされた。レジでのチャージはできないのか？

A:あぶかチャージの件ではご不快な思いをさせてしまい誠に申し訳ございませんでした。現在店舗には①通常レジ、②お支払いセルフレジ、③キャッシュレス専用レジの3種類のレジがあります。そのうち①通常レジではあぶかへのチャージが可能ですが、②お支払いセルフレジと③キャッシュレス専用レジについては機器の特性上、チャージすることができません。今後は通常レジにおいて、あぶかチャージのご要望があった際には、チャージすることができるよう全店で統一し、進めていきたいと思えます。お気づきの点がございましたらいつでもお気軽に職員にお申しつけください。

Q:すくすくスマイルで扱っている商品のグラタンシリーズを店舗でも購入出来るようにして欲しい。

A:協同購入カタログの『すくすくスマイル』のグラタン類は、月に1回の頻度で企画されております。お店での品揃えについては、利用点数の予測とロット(1回で製造する商品数量)との差が大きく、商品ロスにつながる可能性が大きいことから、現時点では取り扱いが厳しい状況です。しかしながら、このようなコープにしかない企画や商品を店舗でも品揃えできるようにする方針には変わりませんので、今後もぜひご要望商品などを教えて頂ければ幸いです。

Q:牧港のコープはよく利用しているがお寿司を食べたいと思って行ってもいつも美味しそうなものがなく購入をやめるのが残念です。改善あると嬉しいです。

A:具体的な改善案がありましたら教えて頂くと非常にありがたいです。これからも食べておいしいは当たり前ですが、見た目も美味しそう、思わず買いたくなるような商品づくりを目指していきます。

Q:50周年・産直商品コーナーに、「生産者へ感謝の一筆」を書く用紙をそなえてるといいかな。

A:50周年の企画としても非常に素晴らしいご提案ですし、普段から常設できるように検討をすすめたいと思えます。

Q:お店の職員数が減って、聞きたいことが聞けないです。

A:この度は店内に職員が見当たらずご不便をお掛けし、申し訳ございませんでした。サービスカウンターなどで、お困りごとなどをお伝えいただければ、店長、副店長や職員で対応させていただきますのでぜひ、遠慮なくお声掛け下さい。まんべんなく店内に職員を配置することは困難な状況ですが、困りごとにお応えできるように知恵や工夫を込め対応していきます。

3. 暮らしのサポート事業、その他事業など

Q:コープハウジングの次年度方針をもっとくわしく聞きたいです(もっと応援したいので)

A:25年度方針で大事にすることのひとつは「組合員さんに寄り添うこと」です。組合員さんの声(要望)を聴き、協力店に繋ぎ、施工することや、完成後も組合員訪問を行い困りごとにより寄り添うことを大事にします。二つ目に「人財

育成（出来ている人に学ぶ）」です。現場調査、見積提案、施工管理など一人で担当することの多い業務ですが、担当者や現場ごとに「良い事例、失敗事例」などのドラマがあります。この事を全員で共有し、学びあう事で全体のスキルアップをすすめます。

Q: ハウジングが苦戦している理由は？

A: 主には競合店（リフォーム・塗装会社や家電量販店、DIY センターなど）の激化が進む中、受注が減ったこと、次世代継承をはかるなか、スピーディな見積提案ができず受注に至らなかったことなどが要因です。25 年度は「学びの場（出来ている人に学ぶ）」を設け人財育成に努めてまいります。

Q: 買物 BUS、いい取り組みなのでぜひ広げてほしい。/利用条件・活用方法を教えてほしい。

A: 買物 BUS、利用している組合員さんからも非常に喜ばれていて「自分の目で見えて買い物することが非常に楽しい」「バスの中で一緒になってゆんたくしながら、交流できるということが楽しい」など、喜びの声を多くいただいています。現在、買物 BUS は2台目が導入されており、コープこくば・おろくから 15 分圏内のエリアが対応可能となりました。登録した方には基本的に、毎週のご利用をお願いしており、お買い物もご自分でしていただくことが条件です。ご利用いただいた方へのスタンプ企画などもあり、楽しんで参加いただけると好評です。

Q: 買い物 BUS ととても良い事です、ガソリン高騰で大丈夫ですか？

A: ガソリン価格高騰の他にも人件費等様々なコスト上昇もあり、経費はどうしても大きくなってしまいます。買物 BUS を持続的に運営していくためには、組合員さんの安定したご利用が不可欠です。そのため、ご登録いただいた組合員さんへは毎週の利用を呼び掛けており、現在利用率は 80%程度となっております（ご高齢者の利用が多いため、どうしても通院や体調不良でのお休みは出てきますが、基本は毎週乗車いただくことを登録の条件としています）。今後も毎週利用の呼びかけ、未利用者への電話かけ等を行い、できるだけ多くの組合員さんに乗車いただけるように取り組んでまいります。

Q: 買物、BUS はこれから高齢化になるので、利用者が増えると思います。（読谷方面も検討下さい、又は、店舗もお願いします）

Q: 2 月 17 日美里店に行った時（11 時頃）駐車場で、タクシーが高齢者の買い物客を降ろしていました。組合員だと思えます。買い物 BUS がこちら、美里店でも必要なのだと思わせる光景でした。5 店舗の中に入っていますか。

A: 買物 BUS は現在 2 台導入しており、C 牧港、あつぷるタウン、C 首里、C こくば、C おろくエリアをカバーしています。しかしながら、お店への送迎サービスですので、その提供エリアは拠点となるお店から車で片道 15 分圏内とさせていただきます。現在のサービス提供エリアは浦添市、那覇市のほぼ全域、南風原町、豊見城市の一部といったところ です。

中部エリアの店舗につきましてはまだ導入の予定はございませんが、買物 BUS のご利用状況、各地域のニーズ、高齢化率などを含め、事業としてなりたつか、継続可能かどうかの視点も大切しながら検討していきます。

Q: 買い物 bus すごい取り組みですね。高齢の母が利用するとなるとあつぷるタウン店になるとは思いますが買い物後の自宅送迎もありますか？利用料金はいくらですか？今度電話しますので教えて下さいね。

A: 買物 BUS ですが、毎週火曜日にあつぷるタウン周辺を送迎しております。利用の仕方ですが、決まった曜日、時間にご自宅までお迎えに上がり、お店までお送りします。お買い物を楽しんで頂いたあと（お買い物時間はコース状況にもよりますがだいたい 40～50 分です）、迎えに来た BUS にご乗車いただいて、ご自宅までお送りいたします。ご利用するには登録が必要になりますが、登録料はいただいております。運賃も無料です。お買い物金額の設定はしていませんが、基本、毎週ご乗車いただくことが条件です（ただし、通院や体調不良によるお休みは除く）。ご近所とお知り合いになれた、車内でのユンタクが楽しい、乗車ごとに押してもらえるスタンプカードが楽しみ！など、嬉しい声が寄せられています。ぜひご検討いただき、ご連絡いただけると幸いです。

Q:共済(シルバー対象もありますか。高額療養が改正されようとしていますサポートができないかどうか)

A:CO・OP 共済では、満65歳～70歳までの方がご加入でき、入院・死亡保障を満85歳まで継続いただける《あいふらす》プラチナ85がございます。また、《ずっとあい》終身生命と《ずっとあい》終身医療は、0歳から満70歳までの方が加入でき、一生涯の生命保障、一生涯の入院・手術の保障を、加入時よりずっと変わらない掛金でご用意できます。

Q:とくし丸のような移動スーパーを検討して頂きたいと思います。

A:コープおきなわでは移動店舗「まちかど便」を、コープこくば、コープ美里の2店舗で展開しております。ご利用希望の方は担当者までご連絡ください。『とくし丸さん』とは沖縄での展開状況などについて交流をさせていただいています。すでに、とくし丸を展開しているスーパーもあり、あらたに展開できるエリアが限られていることもあって、現状での新たなまちかど便の導入は困難な状況です。

Q:海洋散骨について教えてほしい

A:海洋散骨(納骨)は納骨の一種で、お墓ではなく海に散骨(納骨)を行い自然に還る方法です。ご家族と希望日等を調整し、チャーター船にて慶良間近海にて散骨(納骨)を行います。コープ葬祭では、「沖縄海洋墓標会」と提携しており、詳しくはホームページからご覧いただけます。ご希望に応じて資料発送や対面での説明も行っていますので、まずはコープ葬祭までお問い合わせください。

Q:お誕生前申し込みのチラシを見たが、「妊娠中の方へ」等の案内が無かった(キャッチーでなかった)ので、一目みて分かるように工夫したほうがよいと思う。

A: 改善要望としてコープ共済連宣伝企画部へ情報共有いたします。

4.くらしづくり活動

Q:総合推進室の方針・多様なライフスタイル、年代が参加できる場づくりをすすめる……女性が組合員(利用者)の中心にいますが、男性や高齢者の店舗利用者がとても感じられるようになりました。そういう方々のコープへの関りが増えたらいいのですが。

A:今年度、総代・オブザーバーさんにも男性の方が増え、会場で意見交流したり、アンケートを頂く機会が増えました。今後も、どのような方でも参加しやすく、コープおきなわに興味をもって頂けるような情報発信が必要だと感じています。

Q:高齢者の足腰の衰えを、なくするための企画検討はできないでしょうか？

A: コープ牧港の2Fに『おたがいさま健康サロン』があります。健康サロンでは、中高年、高齢者の健康づくりを支援するため、コープおきなわと社会福祉協議会など地域の協力団体と一緒に取り組んでいる地域のコミュニティサロンです。毎週水曜日14:00～15:00のピラティス体操教室や月～金のさんぽっぴ体操教室を①11:00～②15:00～開催し、無料で利用できます。スタッフが常駐しておりますので、気軽にお声掛け下さい。また、他に必要な企画があれば、ブロックにて検討も可能です。お声かけ頂ければと思います。

Q:戦後80年、平和を守る心を育てる活動を子供たちに向けて企画して頂きたいと思います。

A:コープおきなわでは、「二度と家族を戦場に送ることのない平和な暮らしを子どもたちへ引き継ぐために」をスローガンに、平和活動に取り組んでいます。今年は被爆、戦後80年を迎える節目の年でもあります。毎年開催している「6.23ファミリーピースウォーク」に加え、親子で平和について考え、平和を守る心を育めるような場づくり(企画)を検討します。

Q:くらしづくり活動について、他ブロックの企画を近くの地域でも開催してほしいときはどうしたらいいですか？

総代会やくらしづくり活動での託児について、実際に利用されている人数はどれくらいいますか？また、何ヵ月から何歳くらいのお子さんの利用がありますか？

A: 企画は各ブロックにて開催を行っているため、該当のブロックにお声掛け下さい。託児については、企画によって託児を利用する人数に違いがあります。「託児有り」の場合は、1企画2～3名が利用されている状況です。託児できる年齢は、6か月～未就学児としていて、良く利用される年齢は1～2歳が多い状況です。

Q:行政と一緒にあって防災の取り組みや商品の紹介などをしてほしいです。(

A: 県内の市町村や自治体訪問などを定期的に行い、情報共有や交流が図られるような関係づくりをすすめていきたいと考えています。

5. 方針・運営・経営について

Q:価格上げの現状についてコメント欲しい

A: 米価格をはじめとする物価の上昇は組合員のくらしに大きな影響を与えると同時に、生協経営にも大きな影響を及ぼしています。現在の物価上昇の原因は主に4点あると言われています。①ロシアのウクライナ侵略などを原因としたエネルギー価格の高騰、②円安による食品をはじめとした輸入品価格の高騰、③人手不足を背景とした賃金上昇、④コロナ禍以降の需要回復による世界的なインフレ傾向。いずれの要因も仕入れ価格の上昇につながるため小売業であるコープおきなわの事業・運営に影響を与えています。仕入れ価格の上昇分すべてをただちに小売価格に転嫁することができないため経費上昇につながっています。消費者の組合である生協としては、食糧自給を高める観点からも産直活動などを通して、地産地消の取り組みを進める必要があると考えています。

Q:2024年12月時点での未処分制金は3.2億円とのこと。前は幾らかは組合員に配当ということでしたが、私は個人的に配当は反対です。できれば米など生活必要品の物価高騰に備え価格変動準備金の創設をし、それに繰り入れることをすすめます。インフレに対抗して、価格を納得のいく合理的な価格まで引き下げそれを維持するために、取り崩すということも可能となる。昨今の農林省が米の供給不足による値上げを阻止するために備蓄米を放出する方針を決めたのと同じ趣旨でコープとしても消費者(組合員)の生活防衛のためにも価格変動準備金の科目を創設する必要があるのではなかろうかと考えます。食糧の60%を輸入に依存しているので円安はインフレを加速・激化させている。金利を低い水準に押しとどめようとする日本銀行は消費者のことは考えてはいないようです。米など生産に使う飼料も輸入品で円安の影響をもろに受けています。日銀の罪は大きいと思います。政府はインフレ以上に労働者の賃金を引き上げればよいと単純に考えていますが中小・零細、個人事業主、高齢者など賃金以外の収入の人々は見捨てられています。コープも労働者という視点ではなく消費者という視点で生活防衛を考えてほしいと思います。

A:今年度の剰余金処分案は、前年度同様出資割戻を予定しております。また、事業リスク、減損損失リスクに備えた任意積立金は前年度以上の積立を行い、持続可能な経営に備える処分案を予定しています。

昨今の物価高により商品仕入れ価格も上昇しています。やむなく組合員価格を上げざるを得ないところですが、利用しやすい価格設定などのくらし応援も追及していきます。適正な剰余は確保した上で、組合員感謝祭などの価格による直接的な組合員還元も可能な限りすすめていきます。

Q:未処分剰余金?今度質問します。

A:「未処分剰余金」とは会計上の用語です。事業を通して生み出された利益(剰余金)は、総代会の決議を経て法令・定款に定められた法定準備金や教育事業繰越金、組合員への出資配当など、その使途が決定されますが、それが決まるまでは、その処理(処分)が決まっていない金額として「貸借対照表」に「未処分剰余金」として記載されます。

Q:新店件・・反対します。。もう決まった事なんじゃないですか。今でしょうか、何もかも値上がりしているこの時期に出店します。本当に信じられません。それと沖縄市には二店舗ありますよ、中部の人間としてはまだ別の所を考えたいかがでしょうか。

Q:新店舗出店準備が遅れているとの事ですが、「中止」する決断も選択肢として検討もありなのではないでしょうか?当初の見積もり額がいくらで今現在がいくらになっているか明らかにはなっていませんが、うるま市の土地で長年赤字続きだったことが思い起こされ心配です。

Q:お店を出店すると出店直後は赤字構造になりがちですが、それでも出店するのはなぜですか?

A: コープおきなわは累積赤字を抱えていたこともあり、ここ10年ほど事業を拡大する積極的投資ができませんでした。そのため主に事業の効率化による経費の削減で経営改善を図ってきました。店舗事業ではマルチタスク化

(一人の職員が複数の業務を担う取り組み)などにより黒字化を実現できました。しかし、人件費を含め、増え続ける経費をまかなうためには経費削減だけでは限界があるため、事業を拡大していく行く必要があります。コープおきなわの店舗事業はこれまでも各店舗段階では黒字ですが、現在の9店舗では商品調達にかかる部門の経費などを賄ううえでは効率が良くありません。店舗運営の効率化のためには新たな出店が必要と判断しています。現在検討中の店舗形態は投資・運用コストを抑えるため既存店の設備・人財を活用することを前提しており、立地については既存店施設が活用できるエリアで、かつ組合員数などバランスを勘案して現在の予定地を候補地として選定しました。

Q: 出資金について。預けると(個人や組織に)メリットがあるの？

A: 生協は組合員が「出資・利用・運営」する協同組合であり、出資金は生協の活動を支える大事な元手です。出資金は会計上も生協(組合員)の「純資産」として扱われます。組合員のみなさんが無理のない範囲で増資活動に参加し、安定的に運用されることで生協の安定につながり、組合員のより良い暮らしづくりへの貢献にもつながります。また、事業活動によって生み出された利益は総代会の議決を経て、法定準備金など法令で定められた積み立てや将来のリスクに対応する積み立てなどを行った後、組合員個々の出資額に応じた配当などで組合員に還元されます。ただし、その配当率は出資が配当目的とならないよう制限があります。

Q: 50周年に向けて組合員の意識を向上させてほしい。創業した時の組合員さんの思いをもう一度みんなで確認したい

A: 50周年を迎えるにあたり、現在、組合員のみなさまに感謝を伝える企画などを検討しています。折しも今年は国連が定めた「国際協同組合年」でもあります。この機会に、協同組合の価値や今後の展望などを学ぶ場づくりも検討する予定です。併せて、私たちの50年のあゆみや創業当時の想いを振り返ることの必要性も感じており、6月に行われる通常総代会では、記念動画の上映を行う予定です。ご都合が合えば、ぜひ会場にご参加下さい。

Q: 2025年度の方針がわからなかった。むずかしい単語や、何が組合員1人1人のメリットにつながるのか? だった。全体的にコープが成長してゆくのかなあとフワフワな感覚がした。

A: 2025年度の方針は、「基本の再確認と実践」を土台にしながら、4つのテーマである「供給高の伸長」「経費の適正化」「体制の安定化」「組合員の活動参加」を行っていきます。基本の再確認と実践とは、大切にしたい「基本的な考え方」(職員が売る組織ではなく、組合員が買う組織であること、など)を今一度、共通認識とし、普段の仕事で実践していこうという考え方です。50周年の節目でもある2025年度にあたり、今一度、創立の想いに学び、方針に沿って持続可能な組織を組合員・職員一緒になって目指していきたいという想いを込めています。

Q: 「国際協同組合年」とは、どういうことを行うのでしょうか

Q: 国際協同組合年は、具体的にどのような動きがあるか知りたいです。

A: 国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年に決めました。コープおきなわは、この機会に今一度、協同組合の価値や今できることを見つめなおし、「協同組合間協同」などの取り組みを再検討する予定です。

Q: P11 2025年度方針 組合員の運営参加の有り方が具体的になくわかりにくい。

A: 組合員の運営参加には様々な形があります。例えば総代さんでいうと、総代会議等にアンケートを寄せて頂くことも運営参加の一つです。また、コープおきなわの活動に関心がありより深く関わりたい方は、各地域にあるブロックの活動組合員として運営に関わり、企画を組み立てたりする等の参加の方法もあります。かけていただく時間に関わらず、コープおきなわの事業や、暮らしづくり活動に参画・参加して頂くことが広く運営のあり方にあたります。組合員さんそれぞれの状況に沿った、運営参加の形をぜひご検討いただければと思います。

Q: 2025年度の方針について...再確認する事ができた事と、実践に向けて組合員として、どのように取り組んで良いのか、正直、よく分からないです....

A: 総代として、このように会議などで声を頂くことも、大切な運営参加の一つです。組合員の大切な役割として、「出資」「利用」「運営」という3つの柱があり、例えば、コープの商品を普段のくらしで活用して頂くことも、方針の実現に繋がります。また、気軽な運営参加を目指して、総代 LINE を活用しての運営参加等も行っています。まずは、ぜひできるところから、無理なく、コープを知って利用し、広めて頂ければと思います。

Q:SDGS11・12-16の優先課題を組合員も共有実践出来るように広めて欲しい。

A:例えば、SDGS11「住み続けられるまちづくりを」ではフードバンクへの参加や、SDGS16「平和と公正をすべての人に」では「被爆ピアノコンサートへの参加」など、普段のくらしの中でも参加できる機会が多くあります。ぜひ、多くの方に知って頂けるように案内していきます。

Q:産直農家さんの北部豪雨被害のエピソードも、大変なご苦勞をされながら出荷してくださっていることを知り、「商品を購入し、おいしくいただくこと」が私たち消費者としてできることだと思いました。災害支援というと募金というイメージがあるかもしれませんが(もちろんそれも大切)、お互いにとってwin-winで持続可能な形での支援という意味では、消費者がそのような意識を持って商品を選択購入することも大切だと思います。CI(国際消費者機構)が提唱する「消費者の5つの責任」の1つである「社会的弱者へ配慮する責任」にもつながります。

そのためにも、組合員へ、生産者の現状や想いをもっとあらゆる形で伝えてもらえればと思います。ういずコープ紙面やカタログ表示、店頭でのポップ表示やプチ動画で流すなど…もちろん今でもやってくれていることではあるのですが、ぜひさらなる工夫継続をお願いします。それができることが「生協の価値」であり、「持続可能な組織づくり」にもつながると思います

A: コープおきなわの取り組みや商品、利用する人作る人の思いも含めて時代にあった広報に取り組んでまいります。特に近年は若い世代の紙離れが進み、SNSで情報を収集する時代になっています。積極的にwebやSNSを活用しつつ、ベテラン組合員さんが取り残されないように配慮しながら工夫してまいります。

6. 総代会議の運営・資料について

Q:地域別総代への招集案内時に「マイカップ」持参を呼びかけては?来てからお茶サービスを思い出します。SDGSの為に!

A: 次回の会議案内から、「マイカップ持参」について記載させていただきます。併せて、ぜひ次回の地域別総代会議でも、組合員さん同士の話題としてお話頂ければ幸いです。

Q:紙資料無し、身軽ですしエコに繋がるのでいいと思います!

ただ、会場参加だとその場でアンケートが紙で出せたらいいなと思いました。会場が電波が悪く繋がりにくいこと、Google アンケートを開いたら資料を確認しながらアンケートに答えるのが難しいこと、総代 NO が分からず家に帰ってから出そうかなと提出が先送りになってしまう事など、個人的にはそこだけが不便でした。

次回、会場参加した時は、受付で「紙でアンケートを出したいので用紙をください」と声をかけてアンケート回答したいと思います!

A: 寄せていただいたご意見を参考に改善をすすめます。次回より、受付にて、紙のアンケートが必要な方は、お声がけ頂ければ、お渡しできるように準備します。

Q:なかなか会場への参加ができなくて残念ですがコープの取り組みは年々素晴らしいものだと思います。ひとつご意見ですが毎回アンケートの返信用封筒が入っていますが、今はwebアンケート利用の方も多くなっているのであればwebアンケート利用の方々には封筒を同封しない事も経費削減や、ペーパーレスに繋がるとは思いますがいかがでしょうか? 同封する際にお手間がかかりますが…。

A: 返信用封筒につきましては、以前からお声を頂いておりますが、組合員さんのご事情により、その都度提出方法を変えられる方もいらっしゃるため、皆様に同封させて頂いているような現状です。来年度に向けて、改善方法があるか、検討を行っていきます。

Q:LINE アンケートでは「あまりわからなかった」「全くわからなかった」に○をつけた方にのみ意見を求めています。用紙のアンケートでは特に区別はされていないので設問は統一した方が良くと思います。

A: 今回、事務局の不手際により、LINE およびQRコードからご回答いただくアンケートについて、設問の設定が誤っていたようです。大変失礼致しました。次回からはこのようなことがないように、確認を行っていきます。

Q: 八重瀬町カラベジの事を全く知りませんでした。今日カラベジのケールを頂きサラダや味噌汁、炒め物に使えると聞き青汁のイメージしかなくてこれもビックリです。コープの産直産地認定されたのでもっといろんな使い方があれば知りたいです

A: 今回、会場に参加いただいた総代・オブザーバーさんの学習商品として、カラベジさんの「ケール」をご準備致しました。「美味しかった」の声を多数いただいております、レシピについても組合員さんの声を頂いておりますのでご紹介いたします。

・ベーコンと炒めると美味しい。 ・サラダにして、ツナ・ミックスビーンズとクリーム系のドレッシングと相性抜群でした。 ・豆腐やツナと和えると美味しい。 ・スープに入れてもいいねと好評でした。

Q: 宅配で毎週、お世話になりありがとうございます。不足分はその都度、アップルタウン、COOP に出かけて、購入しております。腰痛で目下、治療中なので重い物は持てませんし。今場参加もできませんすみません。

A: 総代会議の参加については、会場参加以外の参加方法でも、組合員さんの声を運営に活かしていけるため、ぜひお気軽にご参加下さい。いつも、あつるタウンでの商品のご利用ありがとうございます。



2 月地域別総代会議アンケートの声

2 月地域別総代会議でお寄せいただいたご意見ご感想の一部をご紹介します。(アンケート含む)

頂いたお声は、該当部署の職員で共有し、今後の検討に活かさせていただきます。

1. 各事業について
クワイエットアワーの音なしはとて素晴らしい取り組みだと思います。照明オフも併せて、全店舗への導入を希望します。
生産者の事を把握し、必要な支援をしており、私達、消費者だけを気にかけているのではないことを知り、「ともに創る暮らしと未来」のテーマ通りの活動をしていると思った。
産地直結について知ることができてよかった。カラベジを購入したいと思った。
消費者と生産者が協力し合い成長していく事の実施。ニュースで知っていましたが、まさか生協のやんばる若どり生産者の方だとは知りませんでした。給水車の運搬作業の支援とても素晴らしいと思いました
無料送迎バスの地域など、わからなかった事を質問する時間もあったので、わかりやすかったです。
沖縄は台風も多いですが、今年は豪雨もひどかったですね。知人もいる地域で心配していましたが、災害への支援なども行っていて素晴らしいです。
北部地区への事業展開が進むことを期待します。
くらしのサポートの所で夕食宅配実現のため(冷凍弁当の)開発・導入を検討とありました。早急の実現を願います。
新店舗(登川)が早く出来る事を望んでいます。
新商品が並んでいるお店を目指し……商品開発は大変だと思いますがお店の惣菜に少しアキテきましたので。
協同購入の配送料の見直しご時世的に up は仕方ないかなー。→その他から、配送料が割引になる条件、知らないと適応されないのでは、皆さんに周知必要と思います。
職員の方に向けて、夏場の連続休暇等とありましたが、大変重要と思います。職場の労働環境は生協の土台でありますので。
くらしのサポートセンターの事業で、海洋散骨などくわしくお話がきけて良かったです。

フルセルフレジの導入はありがたい。レジでの親切な応待での利用も必要なのです。
コープ葬祭の海洋葬のセミナーに行って、とても良くわかりました。
物価高はキツイですね。、コープも米高い!スーパーで買った方が安い!→を新鮮さが全くちがうとのことで納得。協同購入にはお世話になってますが、やはり店舗もほしい。
SDGS-行政では尻すばみになっているのでコープとして取り組み、社会へなげかけてほしい
くらしのサポートセンターについて、買物支援がとってもいいことだと思いました。ハ重山でも広がればいいと思います。
雨風強い日もいつも配達をしてくださる職員の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。給与や福利厚生で待遇をもっともっと良くしてあげて欲しいです。
コープに関わる皆さんは優しく信頼できる方が多いと思います。そんな方々がずっとコープ内で活動が継続できるまで今の姿勢・体制が続きますように。
生協でしか、購入できないものや、品質的にやはり、これでなくっちゃあと、思うものがあるので、これからもどんどん成長していくコープであってほしいです。
物価の高騰で、野菜の価格が高く、規格外、傷物を安くできる方法がありませんか?味はほとんど変わらないと思います。見た目だけなので。
前代未聞の物価高の折、カタログの「くらし応援」「お買い得」「コープ全力応援」商品を家計の助けと考え、購入する日々です。引き続き、生活者を支援する生活協同組合としての取り組みに期待し、微力ながら購入利用で応援して行きたいと思っています。
コープで働いている社員みなさんの方々も働きやすい環境づくりをこれからも構築されていく事を期待しております。
高齢の母が一人暮らしになり、コープを利用し始めました。買い物バス、まちかど便、協同購入など高齢の方々にとって大切なインフラだと思しますので、これからもこのとりくみを続けていってほしいです。
60 歳になりシルバーデイを利用でき嬉しいです。お誕生日の月もハッピーバースデー割引があれば嬉しいです。
ハウジングの低迷は少し残念ですが、今はなかなか大きなお金を動かすのを躊躇する時代ですし… その一方で、介護保険を利用しての手摺り設置などは、なかなか業者が捕まらないとも聞きます。(実際に義実家は業者が捕まらず、義父が自分で手摺りつけてました…) 業者指定を受けるとか色々制度もあるかとは思いますが、身近な困りごとを解決するコープさんですので、ハウジングでもそのあたりの手助けはできないかな~と思います。(介護保険を使えるようにして欲しいかな)
南関あげ【常温保存品(塩山食品)】をコープで買えるようにしてほしいです。
離島配達の船の欠航等による、商品の無駄がきになりましたが、保険や子供、食堂など有効活用されていて、よかったとおもいました。
高齢の両親にエンディングノートを残してもらいたく聴き取りをすることになりました。コープおきなわ作成のノートがあるならカタログに載せて欲しいです。
配達の曜日や時間の変更になってから、他のメンバーと顔を合わせることができず、交流が減り淋しいのと、夕方まで玄関前に荷物が置かれてると思うと注文が減ってしまいました。
県産牛肉の取り扱いを増やして欲しいです

2.くらしづくり活動について

それぞれのブロック活動内容はよくわかりました。宜野湾中城ブロックの「ベジチェックの秋」に興味を持ちました。経営状況については、「概ね良好」と理解しています。

エンディングノートの学習会やりたいです。

せっかく西表島で、しめ縄作りがありました、その企画を知ったのが直前で、日程調整できず参加できませんでした。次回は参加したいです。

3. 総代懇談会の運営・資料について

地域別に、組合員の意見、声、話し合いができることは素晴らしいことだと思います。

初めて参加したのですが、とっても賑やかに、そして、真剣に討論する場をみて、素晴らしかったです。コープをよりよくするために、一丸となり、一つの目標に同じ気持ちで向かう姿勢に、なんだか、ワクワクしたり、嬉しくなりました。

総代の参加率が低いと感じました。アンケート提出は100%なんだと思っていました。

節目を感じながらもさらにによりよく色んなことを考えて向上していく感じ、それをみなでつくり、分かるように話をしたり図に書いたり説明をしたりと会社の中の方だけでなく伝えたい、つくりあげていくところがとても魅力です。これからもいろいろとおそろりたいです。

会場参加して、みなさんと情報交換できたこと、大変良かったです。「たくさん声を出すことでコープも良くなるからね～」っと役員さんのお言葉に、「コープの良さはこれだ!」っと思いました。

様々な方面でのイベントの開催を知り、さすがコープだなと感じます。平日は仕事があり参加できないことが悔しいですが、これからも楽しみにしております。

資料解説がTVのアナウンスのようで「ひとごとかなー」の印象。やはり、職員やスタッフの生の声が聴きたいです。生協の良さは「人のつながり」とあるので、もっと、企画も実践も「人の体温」を感じたいと参加するたびに思うことです。

前半から後半に入った時に違和感があったので資料見たら、「次に後半では」のコマがなく「まずは」のコマから始まってました。動画参加は自分の都合の良い時間に参加できるし、上記のような時とかもっとしっかり理解したいなと思った時は資料も読めるので、すごく良いです。

この参加方法なら働いてる世代も無理なく総代を続けられます。ありがとうございます。

zoom参加が2名だけだったので少しびっくりしましたが、全ての質問に丁寧にお答えいただき、ありがとうございました。様々な取組を知り、生協をととても身近に感じるようになりました。

4. 方針・経営について

ずっと続いて欲しいので持続可能な組織づくり、実現・楽しみです。

大テーマに「生協の価値再認識と、持続可能な組織づくり」とあり、協同購入、店舗くらしのサポートセンターで、具体的に分かるように、説明されているのでとてもわかりやすく、内容が頭の中に入ってきました。

職員や役員の方向性も「ひとごと」的で一般組合員と一緒に目線を感じられない。

2026・2月の50thに向けて、今の時代にあった、テーマや具体的に何か。いま一度、考えて、提案できたらなど・・・

50周年の企画、どんなのが出てくるか期待しています。組合員もそうでない方も気軽に楽しめる企画があればいいですね(例えば店舗で何かしてほしい)

乳幼児向けの離乳食の種類が増えてくれるのは、大賛成!絶対やってほしい。

持続可能な組織、という表現に共感しました。個人的にも、家庭や職場、地域で、やみくもにがんばるのではなく、周りと調和しながら出来る範囲でやっていく時期に来ていると感じています。希望をもって関わらせていただきます!